

令和7年度 地域づくり懇談会次第

日程・場所

田中地区	10月 6日(月)	中央公民館
滋野地区	10月 8日(水)	滋野コミュニティーセンター
柵津地区	10月14日(火)	柵津公民館
和地区	10月20日(月)	和コミュニティーセンター
北御牧地区	10月21日(火)	北御牧公民館
時間：午後6時30分から午後8時00分まで		

1 当日の次第（進行：東御市）

1 開会（地域づくり支援課長）

2 あいさつ（企画振興部長、地域づくり協議会長、区長会長）

3 懇談 【60分】

ア 今回の地域づくり懇談会の内容説明

イ 各テーマごとにグループ分け、懇談

4 懇談結果の発表【20分】

5 その他

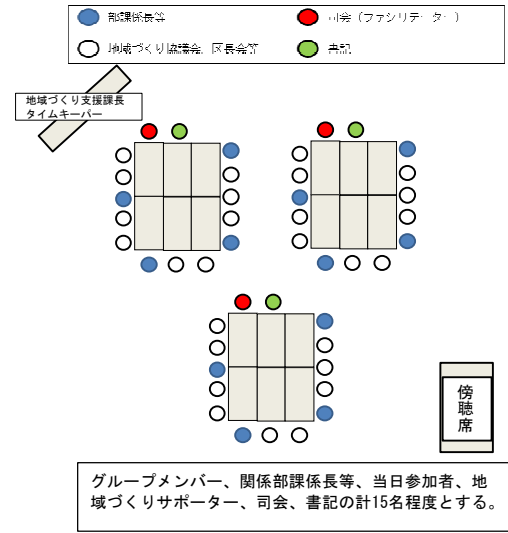
6 閉会（地域づくり支援課長）

令和7年度東御市地域づくり懇談会

【滋野地区】

時間 (目安)	①滋野駅の正面の整備について	関係課	出された意見	市でできること	地域でできること できそうなこと	今後の方向性
25分	<p><懇談内容> 滋野駅駅舎前の整備については、当時は市と協議し、滋野駅を愛する会(以下、愛する会)が滋野地区の玄関口として整備及び維持管理をすることでこれまで管理を進めてきた。 しかし、会員の高齢化等により愛する会自体が解散し、その資金と業務をしげの里づくりの会へ移管した。 引き受けた里づくりの会で維持管理はしてきたものの、現在、持続可能な方向性が見いだせず苦慮していることから、今後の滋野駅の在り方も含め懇談したい。</p>	建設課 商工観光課 企画振興課				
	①ー①' 魅力ある地域活動の発掘(地域づくり経験交流会)座談会	関係課	出された意見	市でできること	地域でできること できそうなこと	今後の方向性
21分	<p><懇談内容> 現在の地域づくり活動の課題について、参加者が感じていること、思っていることなど課題を出し合うとともに区ごとの取組事例を発言しほかの区の実践の参考とする。 当日市からは、滋野地区以外で区の活動で特色のあるものがあれば市から話題提供をし、区の取組活性化を考えていく。</p> <div>(メモ) ②のテーマについては①の懇談後時間あるところで意見交換会形式で懇談する。 様々な意見を出し合い、今後の検討要素にする。</div>	—				

※地域づくり支援課は全てに出席する



○懇談メモ

滋野駅の正面の整備について

○滋野駅を愛する会の活動及びその事業継承の経過について

平成 11 年 11 月 29 日

当時の滋野地区活性化研究委員会役員、桜井区長、東部町商工会滋野支部、桜井区商工会が発起人となり、滋野駅を愛する会が発足する。

会費年間 1,000 円とし、370 名ほどの会員が加入した。

活動は駅舎正面の植栽地帯の手入れ、池の清掃、フラワーポットの設置などを実施。

※令和 2 年の愛する会解散の前年、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年まで駅前の保全美化活動が実施された。

日時不詳

しなの鉄道株式会社と旧東部町（東御市）の間で駅前公園（229 m²（給排水管 3 m²を含む）、照明柱 1 本）の使用貸借契約が締結される。

平成 14 年 3 月 19 日

旧東部町（東御市）と滋野駅を愛する会の間で滋野駅前公園（229 m²（給排水管 3 m²を含む）、照明柱 1 本）の維持管理に関する覚書が締結される。

令和 2 年 10 月 25 日

滋野駅を愛する会が解散

令和 2 年 12 月 22 日

滋野駅を愛する会の残務処理の会議を役員の間で開催したが結論が出ない状況が続き、しげの里づくりの会へ事業継承を打診した結果、里づくりの会役員会にて継承することが了承される。

令和 3 年 3 月 13 日

滋野駅を愛する会としげの里づくりの会関係者立会いのもと、帳簿類・貯金等の引継ぎを行い、しげの里づくりの会へ完全に移管。

※その後、しげの里づくりの会で移管された残金を利用し、業者委託等により環境整備を実施。

令和 4 年 10 月 4 日

東御市としげの里づくりの会の間で滋野駅前公園（229 m²（給排水管 3 m²を含む）、照明柱 1 本）の維持管理に関する覚書が締結される。

令和 7 年

しげの里づくりの会においても事業の限界となり、滋野駅の環境整備について、今回の地域づくり懇談会の議題として懇談を行うこととなる。

(別紙)

